

2019(平成 31・令和元)年度の事業報告書

2019(平成 31)年 4 月 1 日から 2020(令和 2)年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人べっぷ未来塾

1 事業報告

■ 2019 年度事業スローガン『より高く！』

ラグビーワールドカップ開催等で沸き立った 2019 年。その波に乗り、すべての関わりにおいて「より高い」成果を目標に努めたが、第 4 四半期は新型コロナウイルス蔓延予防としての活動自粛、社会活動の停止で多方面にて未達成に終わった。

■ 各事業概要について

① 多機能拠点 べっぷ未来わくわくセンター「y o i y a」事業

(1) y o i y a 運営事業

(1) 飲食部門…コミュニティカフェ（まちなか社員食堂）／異業種・異文化交流カフェ（見守りネットワーク構築事業[ランチ会]含む）

(2) 地域資源・地域観光のプロモーション支援事業（展示即売／物品販売会）

…WCラグビー開催中には「ウエールズ PUB」としてスペース提供、大いに盛り上がった。

(3) 地域振興目的の慈善団体や起業家を主とした「場」の提供事業（レンタルスペース／コアキングスペース／創業支援チャレンジショップ）

…創業意思のある女子 2 名と巡り合い、そのスタートを支援することが出来た。

② 別府 U S E R 倍増計画（別府の能力を活かすことに貢献する）

(4) 九州温泉道段位認定窓口業務（事業事務局「九州観光推進機構」）

(5) まちなかコンシェルジュ業務（まちあそび／まちづかい／まちぐらし、多様な情報提供）

③ 女子力 UP 拡散計画（社会の構成バランスを意識し事業に取り組み、女子力を活かす）

(6) オンナの知恵による地域の共同体が抱える諸問題の解決おせっかい事業（継続）

飲食店を主として個人事業主への支援。関連した軽印刷 TeamW's(チームダブルズ)業務の実施。

(7) 男女共同参画社会啓発推進事業については行政事業の広報支援にとどまり特段の活動は実施しなかった。

④ 断捨離ズム UD 推進計画（誰もが違和感なく、モノに縛られない。安心安全な地域作りに貢献する）

(8) 環境啓発事業 ～ペットボトルキャップ・古切手等の回収

(9) 蒸しくらぶ北浜会事業（エコ調理）…2018 年度に引き続き準備検討中

■ 数値目標について

多機能拠点べっぷ未来わくわくセンター【y o i y a (よいや)】利用者数

目標 年間 10, 000 名

実数 年間 7, 203 名 (未達成)

ワールドラグビー開催の 10 月は 1200 名を超える来場者を数えたが、開催後の閉塞感は予想よりも厳しかった。地域住民がまちなかの動線を変更したのか、通行人が激減したように感じた。年末年始も盛り上がりがかげ、春節前後のインバウンドで賑わいを戻せることに期待したが、新型コロナウイルスのパンデミックで大変深刻な状況となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
ユニバーサルデザイン思考普及推進事業	全ての事業においてUD思考を啓発推進	(A) 通年(B) 別府市内(C) 1名	(D) 市民 (E) 多数	0
高齢者・障がい者(児)への相談支援事業	日常の接客雑談の範囲で応じた	(A) 通年(B) 別府市内(C) 1名	(D) 市民 (E) 多数	0
行政についての情報提供学習事業	市議会傍聴ツアー計画をしたが自粛で中止	(A) 3月(B) y o i y a (C) 1名		0
歴史的遺産の保存維持事業	NPO 法人別府八湯トラストと協働(地熱発電関連)	(A) 通年(B) 別府市内(C) 1名	(D) 市民 (E) 30名	0
温泉文化普及事業	九州温泉道段位認定窓口業務/子ども向け「温泉事典」啓発支援/湯路事業	(A) 通年(B) y o i y a (C) 2名	(D) 来訪者・市民 (E) 多数	473
景観についての学習事業	「文化的景観」の啓発資料の説明や情報提供	(A) 通年(B) 別府市内(C) 1名	(D) 市民 (E) 多数	0
見守りネットワーク事業(ランチ会)	食と場を通じての見守りネットワーク構築事業(コミュニティカフェ)	(A) 通年(B) y o i y a (C) 1名	(D) 市民 (E) 422名	575
学生、外国籍者との交流事業	「コモンバトム」APU 留学生との企画協力の企画協力	(A) 通年(B) 地域(C) 2名	(D) 留学生・移住者 (E) 約 250名	0
男女共同参画社会の情報提供学習事業	特に実施しなかった			0
情報誌の発行事業	【別府かたり本 2017】制作事業(編集) 途中停止	(A) 通年(B) 別府市内(C) 5名	(D) 購入者 (E) 多数	0
子ども食堂含むコミュニティカフェ運営事業	まちなか社員食堂の設営・広報および登録事業/支援者募集活動	(A) 通年(B) y o i y a (C) 3名	(D) 市民 (E) のべ 1008名	1800
市民活動団体の事務局支援事業	コアキングスペースの提供/事務支援/相談業務	(A) 通年(B) y o i y a (C) 1名	(D) 市民 (E) 268名	118
地域資源・地域観光のプロモーション事業	創業支援・観光振興(展示即売会・物販等)	(A) 通年(B) y o i y a (C) 2名	(D) 観光客・住民 (E) 900名	100
多機能拠点べっふ未来わくわくセンター y o i y a 運営事業	空間整備/場」の提供業務/チャリティショップ/コンサルティング業務	(A) 通年(B) y o i y a (C) 8名	(D) 観光客・住民 (E) 多数	328

女性の社会進出機会創出軽印刷事業	Team W's(デザイン&印刷業務チーム)の営業支援/慈善団体・個人の支援業務	(A) 通年(B) 別府市内(C) 1名	(D) 個人事業者 (E) 3名	668
------------------	--	----------------------	---------------------	-----

4062

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
多機能拠点べっふ未来わくわくセンターy o i y aでの飲食業	観光客および地域住民対象にカフェバー業務	(A) 通年(B) y o i y a (C) 3名	1278
人材発掘や起業など地域振興企画を支援する「場」のレンタル事業	移住希望及び地域住民を対象にセミナールーム、コワーキングスペースの提供	(A) 通年(B) y o i y a (C) 1名	135

1413

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

2019(平成31・令和元)年度会計貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人べっぷ未来塾

科目	金額 (単位:円)		科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	47492		短期借入金	1344000	
普通預金	7747				
定期預金	240000		流動負債合計		1344000
その他					
前払費用	19250		2 固定負債		
			長期借入金	17200000	
流動資産合計		314489	固定負債合計		17200000
2 固定資産					
土地	2483915				
建物	5865578				
建物付属設備	6359099				
器具及び備品	771164		負債合計		18544000
3 その他					
出資金	50000				
長期前払費用	227791				
固定資産合計		15757547	III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	-202225	
			当期正味財産	-2269739	
			増加額(減少額)	-2471964	
			正味財産合計		-2471964
資産合計		16072036	負債及び正味財産		16072036
			合計		

(備考)

- ① の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあつては「その他事業」と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 全事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。